

## ★ 初耐【ハツタイ】って？

- 1：レースしてみたい！という方が、一番初めに気軽に出場できる、日本一ゆる～いイベントです。
- 2：バイクがない！という方には、レンタル車輛を用意します（台数に限りあり）
- 3：バイクが作れない！という方には、サポートショップがイチから全面バックアップします。
- 4：バイクを運ぶ手段がない！という方には、輸送お手伝いの相談にのります。
- 5：メカニックやお手伝いがいない！という方には、サポーターをおつけします。
- 6：耐久ひとりじゃ走り切れない！という方には、助っ人ライダーをおつけします。
- 7：装備とか道具とかわかんない！という方には、事務局がフォローします。

必要なのは、「バイクに乗って楽しみたい」という遊びココロ ただ一つです。

「？」は、なんなりとお気軽に事務局までご相談ください(^^)

## ★ 誰でも参加できるの？→ハイ！

以下の2つの条件さえ満たしていれば、どなたでも参加可能です。



- 1：申し込み時に満12歳以上であること。
- 2：原付以上の2輪免許（4輪の普通免許を含む）を持っていること。

但し、過去二ケタ以上のレース表彰台経験がある方の、チーム登録は1名のみ。3時間耐久決勝の出走時間は上限1時間までとさせていただきます。有名無名問わず、主催者判断により、出走をお断りさせていただく場合がございます。あくまでも初心者対象運動会レースであるという空気を読んでくださいネ。

## ★ 1度もサーキットを走ったことがなくても、エントリーできるの？

参加申込時に1度もサーキットを走ったことがなくてもエントリーはできます。ただし、イベント開催日までに必ず前記の条件をクリアしてください。クリアできない場合には、イベント当日の参加は出来ません。

## ★ サーキットを走るときのルールやマナーは、どうしたら学べるの？

### ●主催者に聞く

レース経験が無い方や、児童・高齢者の方、参加にあたって不安をお持ちの方は、事前に主催者に直接なんなりと聞いてください。準備不足が祟って悲しい結果になったとしても誰にも文句を言ってはいけません。

### ●ブリーフィング

公開練習や、決勝の走行前にコース状況やルールを皆様にお伝えするものです。

ルールの最終確認の場所ですので、ライダーおよび代表者は必ず参加してください。

### ●アドバイザー

公開練習や決勝中に、レースやサーキット走行の経験豊富な方をルールやマナーのアドバイザーとして

お招きします (予定)。ブリーフィング等でご紹介しますのでお気軽に話しかけてみてください。  
ライディングの悩み、車輛の悩み、恋の悩み? 等何でもお気軽にご質問ください。

★ どんな BIKE が参加できるの?

1: 事務局が認めたベース車輛、SUZUKI / DR-Z50、DR-Z70、YAMAHA / TT-R50E、HONDA / CRF50F、MONKEY50 (モンキーに関しては、70 c c までボアアップ可)

※その他の車輛に関しては、事務局までお問い合わせください。

2: バイクの形状は、ニーグリップ可能な形状の車輛とします。

3: 上位入賞車輛は、必要に応じてファイナルイベント後に再車検を行います。

4: ホイールのリムサイズが 10 インチ以上 12 インチ以下であること。

5: フューエルインジェクションおよび過給器は禁止 (キャブレター、自然吸気のみ) とします。

6: タイヤは、オンロードタイヤに限ります。また、サイズに関わらずスリックタイヤは使用できません。

7: 水冷エンジンでは参加できません。

8: 単気筒の車輛であること。

9: 事務局が認めたベース車両以外の車輛で参加する場合は、事前に事務局に申請し、認められた場合にのみ参加できます。

★参加するのに必要なものは?

1 : ライダー1~3 名を集めてください。1 人でエントリーするも走るのがしんどい場合は、当日主催者が認めた補助ライダーを助っ人登録することができます。但し補助ライダーの割り当てが出来ない場合でもクレームはききません。

2 : 次に、お手伝いしてくれるピットクルー!

ピットクルー (メカニック・ヘルパー) は無制限です。是非お友達をイッパイ誘って参加してください。車輛回収のお手伝いなどのピットクルーの仕事は盛りだくさんです。主催者側でもフリーのピットクルー (サポートスタッフ) を数名用意する予定ですが、割り当てが出来ない場合でもクレームはききません。

3 : あとは、ライダーの装備です。

1) MFJ 公認ヘルメット (フルフェイス・2 輪ロード用)

※極端に古いもの、キズや破損のあるものは使えません。

※オフロード用やモタード用のフルフェイスヘルメットは不可です。

※必ずロードレース専用のヘルメットをご使用ください。

2) レーシングスーツ (出できれば MFJ 公認が望ましい。また、左胸前部内側または胸部下前立てにカタカナで氏名、アルファベットで血液型を記入してください。直接書けない場合はガムテープ等を貼って記入してください)

3) レーシンググローブ (ロードレース専用の革製に限ります)

4) レーシングブーツ (ロードレース専用の革製に限ります)

5) 脊椎パッド (レーシングスーツの中に必ず着用のこと)

6) ヘルメットリムーバ、チェストプロテクターやエアバックの着用を推奨します。

※1) ・2) については、皆さんの身の安全を守る最も重要な装備です。

※2) ~6) に関しては、チーム内で共同使用しても OK です。

〈MFJ 公認ヘルメット認証マーク〉 〈MFJ 公認レーシングスーツ認証マーク〉

● MFJ 公認ヘルメットには、〈MFJ 公認ヘルメット認証マーク〉がヘルメット内部に貼付されています。このマークが貼られていないヘルメットは使用できません。

● MFJ 公認レーシングスーツには、〈MFJ 公認レーシングスーツ認証マーク〉がスーツ内部に貼付されています。

★ 一体、どんなイベントなんだろう？

1：予選！

予選スプリントレースのスタートグリッド位置決めは何と申込み（申込用紙提出&振込セット）順です。

素早いアクションでポールポジション GET!!

※最後方からスタートしたい場合はレース開催 10 日前までに事務局までご相談ください。

2：スタート！

予選スプリントは階段状グリッドを使ったスタート。

耐久レースは憧れのル・マン式スタートです。

また、3時間耐久決勝中に最低2回のピットイン義務を設けます。

3時間を通して、何度でもピットインは出来ますが、ライダー交代をしないピットインの場合は、ピットレーン出口で毎回10秒の停車義務を設けます。

3：ゴール！

3時間を走りきると、待ち受けているのは感動のチェッカーフラッグです。

このイベントはまずは完走することに意味があります。

4：燃料・給油方法

1. 各チームのピット前で行ないます。給油は消防法に適した携行缶を用い行うものとし、小さい携行缶（1リットル程度のもの）も消防法に合格しているものであれば使用可能です。携行缶は別に主催者が数個持ち込む予定ですが、給油時に空いているかという保証はありませんので、各チームがお持ちになることを推奨いたします。

※主催者が持ち込む予定の携行缶については一切の苦情はお受けできません。またサーキットにはガソリンスタンドはございませんので、会場でのガソリン販売はございません。全て各チームの持込みとさせていただきます。使用できるガソリンはレギュラーガソリンまたは、無鉛ハイオクに限ります。

2. 給油を行う者は、革ツナギを着用したライダーか、不燃性の長そで長ズボン着用が望ましい。主催者が数名配置する予定のサポートスタッフに現地にて個別に給油依頼をすることも可能ですが、依頼の可否や作業の進行等についての苦情は一切お受けできません。

3. 給油時はヘルメット着用または、ゴーグルを装着することが望ましい。

4. 万が一の場合に備え、消化器を各チーム1台持ち込むことが望ましい。

以下の項目は必ずお守りください。

※違反した場合にはペナルティーが課せられる場合があります。

### 1：服装について

●ライダーの方は、必ず定められた装備を着用して走行してください。

### イベントの概要と注意点

●ピットクルーの方は、かかとの固定される履物を必ずご利用ください。ピットサインエリア（サインボードを出すためのエリア）

### 2：ピット・パドックでは

●火気厳禁となります。おたばこは、定められた喫煙所をお願い致します。

●飲酒運転はサーキットといえども厳禁です。

●イベント参加中のピットクルーも禁酒を励行ください。

●容量の大きな電気を使う場合は、各チーム発電機を使用してください（ピットのブレーカーが落ちる場合があります）。

●パドックエリアへのペットの同伴はご遠慮いただきます。

●パドック内での、ウォーミングアップ走行やブレーキングテストは絶対におやめください。

●ピットサインエリアには、傘・パラソル・のぼりなどの風で飛ばされやすい物の持ち込みをご遠慮いただきます。雨天でもカッパ等をご利用ください。

●ピット・ピットサインエリアは譲り合いの上ご利用ください。

●無線の使用は禁止いたします。（管制・計時システムに影響を与える恐れがあります。）

●ピットレーンは大変危険な場所ですので、お子様一人での入場は一切禁止させていただきます。一時的に入場したい場合でも、必ず保護者が手をとるなどして、監視を怠らないようお願いいたします。

※パドック内での、盗難・事故などには責任を負いかねますので、各自責任を持って管理してください。

### ◆パドック内のごみについて

場内で処理できるごみは、燃えるもの（紙、ビニール類）、カン・ビン、ペットボトルとなっています。指定のごみ箱へ分別して入れてください。

エンジン、フレーム、家電製品、じゅうたんなどの粗大ごみとなるものはお持ち帰りください。

また、タイヤ、バッテリー、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどは絶対に放置しないでください。（リサイクル法による品）処理できない品の置き去りについては、不法投棄となり、処罰される場合がありますので 十分にご注意ください。 ご協力をお願いします。

### 3：ピットイン・ピットアウト

●ピットロードは次の3つに区分されます。

(a) 減速区域：ピットサインエリアとコース側の間の部分。ここは、ピットインおよびピットアウト専用の区域であり、徐行しなければならない。

(b) 補助区域：コース側白線とコンクリート路面の間の部分。ここは、減速区域から停車区域、あるいは停車区域から減速区域へ移動する時に通過する区域である。イベント役員を除き、この区域にとどまる

ことは禁止される。

(c) 停車区域（作業エリア）：コンクリート路面とピットガレージまでの部分。ピット作業のための部分であり、車輛の停車を行う区域である。

※ 減速区域や補助区域に停止したり、停車区域を走行して自己のピットに戻るなどしないでください。ピットロードの逆走もできません。

ピットロードは、時速 30km 以下で走行してください。

●ピットインする車輛は、最終コーナー手前から、後続車に手を上げて合図をし、コース右側に車輛を寄せ、安全を確認してからピットロードに進入してください。ピットロード進入直前にも、もう一度、手を上げて後続車に合図をしてください。

●コースインする場合は、後続車に手で合図をし、第 3 コーナー（左ヘアピン）まで、右側を走行してください。その間、後方から近づく車輛の走行を妨げないようにしてください。

決勝中はピットガレージ内に車輛を入れると失格となる場合がありますのでご注意ください。

4：コース上では

●コース上でストップしてしまった場合、コース脇の安全な場所に車輛を移動させてください。コース上を押してピットに戻ることは禁止です。マシンと押し歩きをする場合はオフィシャルの指示に従いながら、周囲の安全を確認しながらグリーン内（コース外ダート）でお願いします。グリーン内含む、コース内にいる間は絶対にヘルメットを脱がないようにしてください。

●自転車からの落下物は大変危険です。走行前の車輛チェックを必ず行ってください。

必ずお守りください

●走行前には、必ず「オイル漏れをしていないか」チェックをしてください。

見るだけでなく、エンジンを一定時間回転させ、オイルが漏れていないかチェックしてください。

コース上にオイルが撒かれた場合、全車輛の走行を中断する場合がございます。

他の参加者に迷惑をかけないためにも、オイル漏れのチェックを十分してから走行してください。

※「前回の走行で大丈夫だったから・・・」ではなく、毎回走行前にチェックすることがポイントです。

●走行マナーについてのお願い

初耐は、お祭り運動会イベントですが、サーキットをたくさんのバイクで走る“スポーツ”です。

参加する全ての方が、ルール、マナーを守っている、という信頼関係がないと、みんなでバイクを楽しむ事ができなくなってしまいます。

特に走行中のルール違反、マナー違反については他の参加ライダーの方に危険をおよぼす事があると認識してください。

やむを得ず走行中に接触したり、他のライダーを転倒させたりしてしまう事もあるかとは思いますが、その場合も相手が怪我をしてないか、気遣う思いやりを忘れないでください。

現地ライダーズブリーフィングや場外トピックなどでお話する、注意事項を必ず遵守していただく事と、「参加の手引き」の内容についてチームのメンバー全員およびゲストで熟知して頂くことを、強くお願い申し上げます。

イベント当日の簡単な流れ

#### ■ 参加受付

サーキットに到着されたらまずは受付を済ませてください。受付時間やその後の全ての時間については、公式HPなどで案内いたしますので、必ずご確認ください。

#### ■ 車輛検査

参加される車輛が、当イベントのルールにあった車輛であるか、また、参加者の皆様にとって安全であるかをチェックします。

#### ■ ブリーフィング

参加されるライダーの皆様全員に出席して頂きます。イベントに参加するにあたっての、注意事項や重要なお知らせを行ないます。チーム代表とライダーは必ずご参加ください。

チーム内で1人でも欠席や遅刻があった場合、ペナルティの対象となります。

#### ■ 公式練習

その日の、マシンの調子や体調の確認を行ってください。

#### ■ 予選兼の10周スプリントレース

#### ■ 決勝

決勝イベントは、スタート進行⇒スタートの順に進んでいきます。

スタート進行時には、スタートできる準備をしてコントロールタワー下ピットにお越しくください。

#### ■ 決勝ゴール

レース終了規定時間を越えた後、先頭車両がゴールラインを切った時点でレースの終了を意味するチェッカーフラッグが振られます。全車両はスローダウン走行に移行し、各々チェッカーフラッグを受けた周にピットへお戻りください。尚、先頭車両のみにウイニングランイベントがあります。最終コーナー付近でオフィシャルの指示に従い、チェッカーフラッグを手にし、コースを1周廻っていただきます。ピットに戻った車両はピットロードにて一時車両保管とします。またチェッカー後は車輛には一切手を触れないでください。

その他、特別賞である The Huge IMPRESSION Award (賞) / (決勝出走した全装備着用状態で最も重量があるライダー) を狙うオーナーライダーは全装備装着状態で、体重車検を受けてください。

#### ■ 表彰式

決勝終了後、表彰式を行ないます。

ライダー、ピットクルー、ヘルパーは全員ご参加頂けますようお願いいたします。

なお、表彰式終了後は必要に応じて入賞車輛の再車検を行うことがございますので、ご協力頂けますようお願いいたします。

初耐に出るために必要なこと、出場車両の改造変更可能箇所をここでご紹介します。

同時に安全に楽しく走っていただくために記載内容を守ってください。

### ● 保安部品

ミラー、タンデムステップは必ず取り外してください。

フロントライト、ウインカー、テールライト、サイドスタンドは取り外しを推奨します。

取り外しが出来ない時はガムテープなどでの全面テーピングを必ず行ってください。※サイドスタンド除く。

### ● タイヤ・ホイール

スリックタイヤ及びオフロード用ブロックタイヤ（純正装着）は使用できません。

必ず、オンロード用の一般公道走行用タイヤに変更してください。

ホイールはリムサイズが 10 インチ以上 12 インチ以下ならば OK です。タイヤへの追加工は禁止します。

タイヤチューブのパンク予防に、リム幅を上げた対策パーツや、競技用ハードタイヤチューブへの交換を推奨します。

例：DR-Z50、DR-70 の場合

DANLOP 社製 10 インチハードチューブ 2,000 円(税込 2,100 円)

タカサゴ社製 EXCEL RIM10 インチ 1 本 14000 円～19000 円

(色により料金変化。また別途スポーク KIT 8000 円前後が必要です。)

### ● マフラー

サーキット周辺環境への配慮から、マフラー交換は基本的に NG です。音量の抑えられたマフラーに交換した車両でエントリーは可能ですが、現地サーキット側から NG が出された場合、レース途中であっても当該車両はリタイヤまたは、ノーマルマフラーへの交換後再スタートをしていただく場合があります。

※サーキット側からの指導 99 d b (レース後+5 d b)

※過去の実績で、Unlabel 社製、US ヨシムラ社製マフラーRS-2、FMF 社製などは走行出来ましたが、今年も走行可能かの保証は出来ません。

### ● キャブレター

純正キャブレターからの本体の変更、改造は不可。キャブレター内部セッティングパーツの変更は OK。

### ● エアクリーナー

エアクリーナーBOX の変更、改造、取り外しは不可。

フィルターエレメントの取り外しは不可。社外品への変更は OK。

### ● エンジン

排気量 70 c c を超えない範囲内での圧縮比の変更、改造は OK  
ピストン、シリンダー、ヘッドの純正品以外の交換は不可

● タンク

メーカー出荷時のタンクを使用してください。

- ・ シートタンクおよび補助タンクの取付は禁止。
- ・ タンクキャップエアベントの取付、変更は OK

● シート

シートの材質変更、嵩上げ、アンコ抜き、色変更は OK

● サスペンション

前後サスペンションの変更は OK

● アクセル・スロットル

アクセルグリップの変更は OK。ハイスロットルの変更は OK

● ハンドル・バーパッド

ハンドル及び取り付けの為のクランプの変更は OK。バーパッドの変更は OK

● ハンドガード

ハンドガードの取付は OK

● ステップ・ペグ

ステップ・ペグ廻りの変更は OK

● ブレーキ・ブレーキパッド

ブレーキ廻りの構造変更は OK。ブレーキパッド及びシューの変更は OK

● 電気 CDI ユニット・リミッターカット・イグニッションコイル

電気 CDI ユニットの変更は OK。リミッターカットは OK。

イグニッションコイルの変更は OK

● スピードメーター・タコメーター

スピードメーター及びタコメーターの取付は OK

● 外装変更

外装変更及び、カラーリング変更は OK



● スキッドプレート

スキッドプレートの取付は OK

● スイングアーム

スイングアームの変更、補強は OK

● フレーム

フレームの変更は不可。補強は OK

● ボディーワーク

追突や接触時の危険を避けるため、車輛の一部がリヤタイヤの最後端より後に出ないようにしてください。

また、ハンドルを左右いっぱいにきった時にタンクやカウル等と指をはさまないようにしてください。

● 突起物

車輛にライダー等を傷つける恐れのある突起物（尖ったレバーや破損して鋭利になった部分）がないように気を付けてください。

● チェーン&スプロケット

チェーンサイズの変更、スプロケットの変更は OK

但し、申込時オーナーライダーの装備装着重量が自己申告 65kg 以下の場合は主催者の指定する丁数のスプロケットを装着しなければならない。（DRZ70 は、メーカー出荷時の 13-33T とする。それ以外の車種もメーカー出荷時の丁数とする。）65k g 以下の申告がされないままレースを終え、レース後の装備装着重量車検で 65k g 以下の結果が出た場合は競技結果から 5 週の減算とする。

● チェーンガード&スプロケットガード

全車にチェーンガード&スプロケットガード（フロントおよびリア）の取り付けを義務付けます。チェーンガード、スプロケットガード共に、メーカー純正で新車購入時に装着されているもので十分です。

● フットレスト（ステップバー）について

先端が転倒などにより鋭利に削れたものの使用は一切不可とします。必ず先端を丸く加工してご使用ください。

● ゼッケンベース

ゼッケンベースについては、横 250mm×縦 190mm の貼り付け面積を確保したものをマシンの前と左右、3 カ所にスペースを取ってください。純正装着されているもので十分です。ベース色、ゼッケン番号色は共に自由としますが、

太陽光の反射を避けるために、ベース・番号ともに、なるべくつや消しのものをご使用ください。数字はゼッケンベースに入るできるだけ大きく見やすいものをご用意ください。

ゼッケン番号については、見づらい物は不可としますので、大きさや書体等、見やすい物をご用意ください。

#### ● ガソリンキャッチタンク

ブリーザー付燃料タンクおよびキャブレターに装着してください。

タンクの中を空にしておくようにしてください。なお、ガソリンキャッチタンクには、燃料タンクのオーバーフローを受け留めるものと、キャブレターからのオーバーフローを受け留めるものが必要となります。双方の機能を兼ねているものでも結構です。また、転倒時にコース上にガソリンがこぼれるのを防ぐため、キャブレターのエアイベントからもチューブを出し、キャッチタンクに入れてください。

※ 一部キャブレターにはエアイベントにチューブを付けると、通路をふさがれる場合がありますので、その場合はオーバーフローだけで結構です。

※ タンクは空き缶やペットボトルは不可です。

※ キャッチタンクの容量は 100cc 程度で結構です。

※ 取付や、対応パーツの手配が難しい場合はハラファクトリーさんに事前に相談ください。

事前に申し出があった場合は、現地取付でも過去対応出来ました。

#### ● オイルドレンボルト・オイルフィルターキャップ

必ずワイヤーロックするようにしてください。また、フィルターキャップをブリーザーチューブ等を装着するために変更している場合は、ホース等がある程度固定するためにワイヤリングを施してください。

ワイヤーは 0.5mm 以上の物をご使用ください。

※ 取付や、対応パーツの手配が難しい場合はショップ等に事前に相談ください。

事前に申し出があった場合は、現地取付でも過去対応可能でした。

#### ● テレメトリー（無線や携帯電話など）

動いているバイクへ情報を伝える、または動いているバイクから情報を得ることは禁止いたします（公式の計測装置は除きます）。

#### ● スタート装置（キックもしくはセルスターター）

出場車両には、確実に機能するスタート装置（キック・セルスターター）の装着が義務付けられます。

※ 上記に記載ない改造パーツは主催者判断で OK とみなしたものを除き、基本変更不可。

#### ■ エントリー料

¥24,000 / 1 チーム 1 名

サポート（助っ人ライダー登録や、スタッフの援助、主催者が用意する備品支援など）を必要とするチームは上記エントリー料から ¥5,000 加算の、¥29,000 とします。

1 チームにつきライダーは最大 3 名を登録できるものとするが、上記は 1 名でのエントリー時の料金とし、1 名追加するごとに、3000 円/人（助っ人ライダー分は除く）が加算される。

※参加台数による、参加料の変動システムを廃止しました。

※先着数台ですが、レンタル車輛を用意しました。車両レンタル費 ¥20,000 保証料 ¥10,000 の合計 ¥30,000 を参加費と別にお支払いただくことにより、レンタル車輛での参加を認めます。無転倒且つ、車両の破損がない場合のみ保証料を満額お返しします。尚、車両の仕様、走行中の不具合によるリタイヤなどの苦情は一切受付出来ません。

4 台以下の場合、主催者判断として大会そのものを中止する場合があります。  
参加台数に最大 5 枠のゲストチームは含まないものとする。

2015 年 初耐の特別賞は次の通りとなります。

名称/選考内容条件/賞典

1 位～3 位/周回数順/副賞

The Great Spirit Award（賞）/最も年齢の高いライダー/決勝出走/副賞

The Huge IMPRESSION Award（賞）/決勝出走した全装備着用状態で最も重量があるライダー/決勝出走/副賞

Standing Up Award（賞）/一日を通じ最も転倒が多かったライダー（自己申告）/副賞

TOP OF First Award（賞）/決勝中 1 周のタイムが最も速かった男性ライダー/副賞

TOP OF Beauty Award（賞）/決勝中 1 周のタイムが最も速かった女性ライダー/副賞

TOP Best Clean Award（賞）/決勝中最も転倒が少なかったチームの最上位（自己申告）/副賞

All Champions Authorization（認定）/ライダー+ピットクルーの登録総数の最も多いチーム対象内で決勝最上位/副賞

※特別賞の選考に対する抗議は一切受け付けられませんのでご了承下さい。

※賞内容は変更される場合がございます。

#### ■エントリー方法

先着 30 チーム。（最大 5 枠のゲストチームを除く）

申込みは、1 チームにつき 1 回としてください。申込み後は、受付期間をのぞき、キャンセル・返金ともに一切できません。転売や譲渡もできません。ご協力をお願いいたします。転売にて権利を取得された場合は参加をお断りさせていただきます。

◆申込み受付期間： 10 月 1 日（火） ～ 10 月 18 日（日）まで

●現金書留での正式受付のみとなります。

申込用紙にもれなく記載いただいたものと、参加費用を添えて初耐イベント事務局までお送りください。

事務処理の簡易化を理由として、受理書類は発送せず、エントリー受理、タイムスケジュールなど、必要な案内は大会 WEB トピックス告知で行います。

◇初耐イベント事務局

〒146-0081 東京都大田区仲池上 2-12-1

有限会社フルール内 初耐イベント事務局 代表 佐藤昭仁

TEL：\*9\*-3237-\*22 \*を0に変換ください。

FAX：\*3-3752-5345 \*を0に変換ください。

PC メール：a.satoh★hatsutai.com ★を@に変換ください。

初耐 特別規則

公 示

初耐イベント事務局は 2015 年 10 月 29 日、群馬県北群馬郡の榛名モータースポーツランドにおいて初耐 2015 を開催する。

第 1 条 競技会の名称・格式

初耐 2015

第 2 条 主催者

初耐イベント事務局

〒146-0081 東京都大田区仲池上 2-12-1

第 3 条 開催場所

榛名モータースポーツランド

〒370-3502 群馬県北群馬郡榛東村山子田 2205 TEL (0279) 55-9001

第 4 条 大会役員

大会役員は、公式通知に示す。

第 5 条 日程

2015 年 10 月 29 日 (木)

第 6 条 損害の補償

車輛の破損：参加者は、車輛が競技役員によって保管されている期間をのぞき車輛およびその付属品が破損した場合、その責任を各自が負わなければならない。

損傷の責任：行事開催期間中、またはその前後におきたライダーおよびメカニック、ヘルパーの損傷は自らが責任を負うものとする。

第 7 条 大会役員の責任

参加者、ライダーおよびピットクルーは主催者・大会役員・競技役員が一切の損害補償の責任を免ぜられていることを知っていなければならない。すなわち大会役員はその職務に最善を尽すことは勿論であるが、もしその行為によって起きた参加者、ライダー、ピットクルーおよび車輛等の損害に対して、大

会役員は一切の補償責任のないことをいう。

## 第8条 目的

本規則は、初耐事務局が、サーキットにおいて練習、レースを含むサーキット走行する際の基本的な走行方法、マナーを示すための規則である。

## 第9条 定義

1) サーキット走行とは、全ての者が、練習及びレース等においてその持ち得る技量及び車輛の能力において、でき得る限りより速く、かつ安全に走ることを目的として走行することをいう。

### 2) レコードラインの定義

レコードラインとは、そのサーキットをでき得る限りより速く、かつ安全に走るための理想的走行ラインをいう。

3) スロー走行とは、ライダー、マシンのトラブル、サーキット初心者者の走行、慣らし走行、コース慣熟走行、下見走行をいい、基本的にはピットロードがある側のコース端を走行しなければならない。

## 第10条 サーキット走行における遵守事項

サーキット走行する際は、各サーキットごとに定められた規則を熟知し、当該施設の指導員・係員、オフィシャル等の指示に従わなければならない。

### 1) 優先権

(1) サーキット走行においては、基本的にはレコードラインを走行する者に優先権がある。

(2) スロー走行中の者は、レコードラインを走行する者を妨げてはならない。

スロー走行車は基本的にはコースのピットロードがある側のコース端を走行しなければならない。

(3) ピットロードにおいては、ピットインしてくる車輛（先にピットロードを走行している車輛）に優先権がある。

(4) ピットアウトしてコースに復帰するライダーは、ピットロードを出て2コーナー出口に達するまでは、コースピット側コース端を走行しなければならない。その間、後方から近づく車輛の走行を妨げてはならない。レコードラインへの合流に際しては、十分な速度まで加速しなければならない。

### 2) 走行中の遵守事項

(1) シグナルおよびフラッグシグナルを確認し、その指示に従う義務がある。

(2) 通常予想できない地点での不必要な急減速をしてはならない。

(3) いかなる場合も、逆方向への走行あるいは規定外のコースを走行してはならない。

(4) 直線部分では、前車を追い越す以外の目的で進路を著しく急激に変更することは禁止される。

(5) 他のライダーの走行を妨害するような走行をしてはならない。

(6) 必要以外にハンドルから手を離したり、足をフットレストから離し、また外に突き出したりするような危険な姿勢をとってはならない。

### 3) 転倒・コースアウト

#### (1) コースアウト

① もしコースアウトしたら、復帰する場合は後方を確認したのちコースに復帰しなければならない。転倒した場合は、マシンの確認（破損・オイル漏れ・グラベルの砂利等）も留意し、コースを汚損してはならない。

② トラブルなどで走行を止める場合は、マシンをコース外の安全な場所に止めてから退去しなければならない。

#### (2) 転倒

① 自分が転倒した場合、2次災害の防止つまり後続車にひかれる、あるいは後続車を転倒させる等の事故の増大を防止しなければならない。

② 転倒したらまず安全な所へ避難すること、特にオイルによる転倒は、後続車も同じ場所で続々と転倒してくる可能性があるので注意しなければならない。

③ 安全な場所から、でき得る限り後続車へ知らせる努力をすること。安全なタイミングを見て電源と燃料コックをオフにして火災やガス漏れを防止する。また、可能な限り散乱部品を撤去すること。

④ ガードレールの外に出るまでは、ヘルメットを着用していなければならない。

⑤ 転倒したマシンは、オイル・ガソリン等をこぼす場合が多いので、転倒車輻を目撃したら次の周回は充分注意して走行しなければならない。

#### (3) コースへの復帰

① 安全な場所にてマシンが走行可能かどうか確認すること。

② オイル・ガソリン・冷却水・ブレーキオイル等の漏れがないか確認する。漏れがあった場合は、無理にピットまで帰還しないこと。

③ 走行に危険がある部分の破損、重要保安部品の破損、または破損部が鋭利になっていないかを確認すること。

④ カウリング内に泥、砂利、草等が入っていないか確認し、またタイヤに泥が付着したままライン上に復帰してはならない。

⑤ 後方の安全を充分に確認して余裕を持ってコースに復帰すること。

#### (4) マシントラブル

① 走行中にマシントラブルに見舞われた場合、レコードラインを走行するライダーの妨げにならないように注意してピットに戻ることができるが、後方の安全を確認し合図をしてからピット設置側を走行すること。

② コース上にオイル等の液体を撒き散らす恐れのあるようなトラブルがあった場合は、スロー走行でピットに戻ろうとはせず、すみやかにコースアウトして安全な場所にマシンを止めなければならない。

③ 車輻は、自己の責任において安全装備等各サーキットにて要求される仕様を満たし、完全に整備されていなければならない。

#### (5) ピットイン

① ピットインする車輻のライダーは、ピットロード入り口手前より後方を確認したのち、ロードレースピット側に車輻を寄せ、手または足でピットインの合図を行ったのち、安全を確保しピットロードを徐行しなければならない。ピットエリア（停車区域）を走行することは禁止される。

② ピットインする車輻は、自己のピットにできるだけ近いピットロードからピットエリアに入り、自己のピットにできるだけ寄って停車しなければならない。

③ ピットロードのスピード制限は、30kmとする。

④ ピットロード、サインエリアでのピットクルーは、走行車輻に優先権があることを認識し、自己の責任において安全を確保するものとする。ピットクルーが規則に従わない場合も当該チーム、ライダーが

責任を負うものとする。

#### (6) その他

- ① 常にスポーツマンとしての態度を保ち、品格を疑われるような言動は厳に慎まなければならない。
- ② パドックに入ったら、アルコール類あるいは薬品（興奮剤等）を使用してはならない。

#### 第 11 条 損害に対する責任

- 1) 走行中自己の車輛およびその付属品および安全装備等が破損した場合、またサーキットの付帯設備等を破損した場合も、その責任は自己が負わなければならない。
- 2) 走行に際して起こった負傷等は、参加者自らが責任を負うものとする。

#### 第 12 条 ライダーの指名登録

参加車輛 1 台につき、オーナーライダー 1 名を登録しなければならない。また補助ライダーを希望するチームはオーナーライダーと別に 1 名の補助ライダーを登録できるものとする。

レース当日の補助ライダー登録は主催者が認めた場合のみ許可される。

#### 第 13 条 ピットクルー

ピットクルーとは車輛に直接接触の可能性がある者、およびピットレーンに進入する可能性がある者を示す。ピットクルーの登録をしていない者が上記行為を行った場合はチームに対して罰則が与えられる場合がある。

#### 第 14 条 参加受理と参加拒否

- 1) 参加申し込み者に対しては、大会事務局から参加受理または参加拒否が通知される。
- 2) 参加を取消す申し込み者には参加料は一切返却されない。
- 3) 大会事務局は、理由を明らかにする事なく、参加申し込みを拒否する権限を有する。  
参加申し込みの拒否に関しては締め切り後に連絡する。
- 4) 参加を拒否された申し込み者には、参加料が返却手数料 ¥2,000 を差し引いて返還される。

#### 第 15 条 ライダーの変更（入れ換え・追加）

エントリー内容変更受付期間後のライダー変更は大会事務局長が認めた場合のみ認められる。

※ライダーの走行する順番を指定していませんので、走行する順番はチーム内で自由に決めて下さい。  
助っ人ライダーの決勝走行時間の上限は 1 時間までとする。それ以上の時間、走行することは認めない。  
目立つ違反をした場合は罰則の対象になりえる。

#### 第 16 条 車輛の変更

エントリー内容変更受付期間後の車輛変更は主催者に申請し、主催者がこれを認めた場合のみ変更できる。

車検をすでに受けている車輛を変更する場合は、競技役員が変更する車輛を検査する。また、競技役員の指示が合った場合はマーキングした部品を競技終了まで車検場にて保管する。

- 3) 公式車検後にマーキング部分の変更を行う場合は車輛変更と同様の手続きをすること。

#### 第 17 条 パドックでの通行など

パドックおよびサーキット内における通行、駐車、行動の指示は設備付帯案内標識などを参考に使用すること。別途大会事務局から特に指示があった場合、参加者はこれに従わなければならない。

#### 第 18 条 ピットの使用

- 1) 使用ピットは、譲り合いの精神をもって使用するものとする。 コントロールタワー 1 階コース向か

って左側ピットスペース2枠は大会事務局用とする。

2) ピット内は清潔を保ち、器材を整頓し、火災防止に努めなければならない。(火気厳禁)

#### 第19条 参加者(すべてのパドック入場者)の遵守事項

- 1) すべての参加者はイベント期間中、オフィシャルの指示に従わなければならない。イベントの妨害となるような行動は慎まなければならない。
- 2) 参加者は、スポーツマンシップに則ったマナーを保たなければならない。イベントの妨害となるような行動はつつしまなければならない。
- 3) 参加者は、主催者、イベントの後援者、審査委員会およびオフィシャルの名誉を傷つけるような言動をしてはならない。
- 4) 参加者は、イベント中またはイベントに関係する業務についているときは、薬品などによって精神状態をつくろったり、飲酒してはならない。
- 5) 許された場所以外での喫煙は厳禁とする。
- 6) イベント事務局の許可なく、ピット・パドックの占有をしてはならない。(ガムテープ・タイヤ等による場所取り)
- 7) 使用済みのタイヤは、パドック等に放置せず必ず参加者が持ち帰ること。
- 8) 監督は、自身の言動はもちろん、自チームのライダー、ピットクルー、ゲストなど全員の行動について責任を持たなければならない。トラブルが生じた場合は、失格、退場等の罰則を課す場合がある。
- 9) 参加するライダーは全員ブリーフィングへの出席が義務付けられる。遅刻/早退/欠席した場合、罰則が課せられる場合がある。場所はコントロールタワー2階。時刻はタイムスケジュールに示す。

#### 第20条 選手受付

- 1) 参加申し込みが正式に受理された参加者には、参加受付会場で、参加受付を行うものとする。

#### 第21条 公式車検

- 1) 参加車輛規定に基づき、車輛検査が行われる。この際規則に合致しない部分がありながらも、なお車検員に発見されなかったとしても、承認を意味するものではなくイベント中にそれに関する疑義が生じた場合は競技役員の指示を受け、ペナルティの対象となる場合がある。
- 2) 公式車検はタイムテーブルに従ってパドック内にオフィシャル巡回にて行われる。公式車検時間内にはマシンは必ずピットボックス内分かり易い場所に配置すること。指定時間内に自車両の車検が行われていない場合は、速やかにオフィシャルに声をかけること。
- 3) 公式車検の際、登録された監督、ライダー、またはピットクルーいずれかが立合うこと。
- 4) 定められた時間内に必ず車輛検査を受け、検査に合格しなければならない。これ以後の検査は競技監督が不可抗力の理由によるものとして特別に認めた場合以外は行わない。
- 5) 公式車検において規則または安全上出場が不適当と判断された車輛は、フリー走行を含む一切の走行を拒否される。
- 6) 車検長は、イベント期間中、必要に応じて随時車輛検査を行うことができる。
- 7) 車検長は必要に応じて随時音量の測定をチェックすることができる。
- 8) イベント終了後は上位車輛に対して必要に応じて再車検を行う。再車検を拒否した場合は失格を提示する。



## 第 22 条 リタイヤ

事故または車輛故障などの理由でリタイヤする場合は、大会事務局に報告し、リタイヤ申請をしなければならない。

## 第 23 条 スタートの進行

- 1) オーナーズスプリントのスタート方法は階段状グリッドスタートとする。  
耐久レース決勝のスタート方法はスタッガード式ル・マンスタートとする。
- 2) コース上が WET の場合はスタート方法を変更する場合がある。
- 3) スタート時に安全上問題がある場合は、競技監督の判断によりスタートを遅らせる場合がある。特に豪雨や雷雨の場合は急遽スタート方法を変更する場合がある。
- 4) スタート進行の詳細については、スタート進行表として公式通知にて発表する。
- 5) スタートを遅らせた場合でも競技終了時間は変更しない。

## 第 24 条 反則スタート

- 1) スタート手順（進行）においてピットクルーが指示に従わなかった場合は、反則スタートとして認定され、当該ライダーに対して罰則が課せられる場合がある。
- 2) ジャンプスタート（フライングスタート）と認定された場合、競技結果に 1 分加算ペナルティの罰則が課せられる。また競技中にジャンプスタートであった旨の報告は基本的に行わないものとする。
- 3) 反則スタートの判定に対する抗議は受け付けない。

## 第 25 条 ピット作業

- 1) ピット作業とは、工具や部品等で、車輛に対して手を加えること、およびライダーの乗降行為を言う。
- 2) 車輛がピットインしたとき、当該車輛のメカニックは自己のピット前の停車区域に出て作業することができる。ピット作業の場合を除いて停車区域に出ること、部品や工具を停車区域に置くことは禁止される。
- 3) 決勝中のピット作業要員は、その車輛に登録されたライダーおよびピットクルーとする。作業に携わっていない者は停車区域に留まってはならない。
- 4) ピット内において火の粉が出る作業（サンダー等）を禁止する。
- 5) イベント中にピットガレージ内に車輛を入れた場合は失格となる場合がある。
- 6) 大会事務局側サポートスタッフがいない場合、作業の協力を要請することを認める。

## 第 26 条 走行中の車輛修理

ピット以外の地点で停車した車輛に対して、作業にあたる事は厳重に禁止される。

## 第 27 条 ピットサイン

- 1) ピットサインはピットクルーが、ピットサインエリアまで出てサインを送ることができる。
- 2) ピットサインエリアまで出入りする際にはピットインおよびピットアウトする車輛に充分注意するとともに、車輛の通行を妨げてはならない。
- 4) ピット前およびピットサインエリアでは傘等の風で飛ばされるものを身に付けてはならない。
- 5) 決勝のスタート時には、ピットサインエリア内の立ち入りは禁止とする、全車スタートが完了し放送の指示が有るまではサインエリアに立ち入らない。
- 6) 使用するサインボードの大きさは 100cm×60cm の長方形を超えるものであってはならない。また、ウォールより高い踏み台を使用することは禁止する。

(風によって飛ばされる可能性がある構造物・テント・傘等は、ピットサインエリア内に設置してはならない。またオフィシャルの指示があった場合その指示に従わなければならない。)

7) サンドルおよびヒールの高い履物はピットエリアの立ち入りは禁止する。ピットクルー要員等の履物は運動靴・スニーカーなどが望ましい。

#### 第 28 条 決勝中における燃料補給

- 1) 補給作業時には、ライダーはエンジンを停止すること。
- 2) 燃料補給作業の際に燃料タンクから溢れた燃料は必ず拭き取らなければならない。
- 3) 燃料補給に携わるピットクルー（消火スタッフも含む）は、化繊素材の服およびサンダルの着用は禁止とする。基本的に難燃素材（綿 100%可）の服を着用すること。
- 4) こぼれた燃料等はホウキ、オイル処理剤等を使用して必ず拭きとらなければならない。
- 5) 大会事務局側サポートスタッフがいる場合、作業の協力を要請することを認める。

#### 第 29 条 走行の中断

- 1) やむを得ない事情により、イベントの続行が不可能と判断された場合、競技監督は主催者の指示または同意を得てイベントを中断させることができる。ただし、緊急の場合は競技監督の判断で中断、あるいは必要な処置をすることもある。
- 2) イベント中断の場合は、メインポストで赤旗を振動提示する。またシグナルによる赤色灯の併用によって合図される。
- 3) イベントが中断された場合、ライダーは最大限の慎重さと注意をもって進み、必ずその周にピットインしなければならない。ピットイン中の車輻への作業はただちに停止しなければならない。ただし、給油作業中の車輻に関しては、一連の作業を終えることとする。また、中断の合図が出された時点でピットロードを走行中のライダーは、ピットインしていたものとする。
- 4) 発表されたイベント終了時刻の 1 時間前以後にイベントが中断した場合は、イベントは成立したものとみなされる場合がある。その際、順位はイベントが停止される前の周回における順位とする。

#### 第 30 条 中断された走行の再開

- 1) 再開が可能となった場合、競技監督は主催者の同意を得て走行を再開することができる。
- 2) スタート進行の手順が 5 分前より開始される。なお、この際のスタート順はグリッド順とする。中断後の再スタートはグリッドまで押し歩きとする。

#### 第 31 条 イベント終了

- 1) イベントの中断が途中であってもレース終了時間は変更にはならない。
- 2) チェッカー後は全車減速し、オフィシャルの指示に従いピットインする。

#### 第 32 条 順位および完走の認定

- 1) チェッカーが振られた時点で完了する周回数を元に各賞の認定が行われる。チェッカーの際にピットエリアにいた車輻は、自走でコントロールラインを通過することで、ピット内でもチェッカーを受けた車輻として扱われる。
- 2) 最多周回数チームの走行した周回数の 50%以上を走行したチーム、また大会事務局が特に認めた車輻は完走として認定される。

#### 第 33 条 表彰

- 1) イベント終了後は主催者の指示に従い暫定表彰式を受ける。

### 第 34 条 大会の中止

- 1) 主催者は、特別な事情が生じた場合、イベントを中止することができる。
- 2) 主催者の決定に対して全ての関係者は従わなければならない。
- 3) 大会の中止と参加料等の返却は、次の表のとおりとする。参加者は、その他一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

#### 事 例

大会期間中走行が荒天などを理由に 1 回も行われず中止→選手受付をした全員に手数料 20000 円を差し引いた金額を返却

練習走行を含め、一回でも走行は行われた後中止→返却しない

### 第 35 条 ペナルティ（反則行為については、ペナルティーを科す場合がある）

- 1) 走行中の反則、妨害行為。
- 2) イベント期間中の違反に対するペナルティーは競技監督が大会事務局に諮って決定される。
- 3) 大会事務局は状況に応じてペナルティーを軽減したり強化したりすることができる。
- 4) 大会審事務局はチームに対して下記の罰則を科することができる。

#### 軽重

1 厳重注意を 3 回された場合は失格の提示を行う

2 罰金現金 ¥20,000 以下

3 タイム／ポイント／

周回数に対する罰則 当該チームの実際の成績に影響をおよぼすタイム／周回数の加算・減算・順位の変更のペナルティー／ストップ&ゴーペナルティー

4 大会、イベント、レースまたは結果から失格となる

5) イベント期間中以外（走行会や公開練習会等）の違反に対するペナルティーは大会事務局長によって決定される。

6) 主催者により決定された罰則に対しての抗議は一切受け付けない。

7) ジャンプスタート（フライングスタート）に対するペナルティーは、競技結果より 1 分加算とする。

8) 参加の手引きに記載されている内容に違反した場合、罰則を科す場合がある。

### 第 36 条 主催者の権限

主催者は次の権限を有するものとする。

1) 参加申込受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。

2) 主催者が必要と判断した場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出要求し、イベント出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。

3) ゼッケンプレートの番号の指定、あるいはピットの割当等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。

4) 止むを得ない理由により、ライダーの指名登録または変更について許可することができる。

5) すべての参加者、ライダー、ピットクルーの肖像権およびその参加車両の音声、写真映像など、報道、放送、放映、出版に関する権限を有し、この権限を第三者が使用することを許可できる。

- 6) 公序良俗に反する言動がある参加者に対しては、選手受付後であっても参加を拒否することができる。
- 7) 主催者はタイヤ、プラグ、燃料、油脂類、部品等に関して使用メーカーおよび銘柄の指定を行うことができる。参加者はこれを受け入れなければならない。
- 8) 主催者は大会スポンサーロゴの入ったゼッケンベースの装着を参加者に義務づける事ができる。
- 9) 主催者はゲストチーム、ゲストライダーを招致することができる。

#### 第 37 条 本特別規則の解釈

本特別規則およびイベントに関する公式通知や諸規則の解釈についての疑義がある場合、参加者はイベント 1 週間前までに文書によって質疑申し立てができる。質疑に対する回答は、審査委員会の解釈または決定を最終的なものとして関係当事者に文書または口頭で通告される。

#### 第 38 条 公式通知の発行

本規則に記載されていないイベント運営上の細則や、参加者に対する指示、本規則発表後に生じた必要指示事項は、公式通知によって示される。

●公式通知は下記のいずれかの方法により参加者に通告される。

- 1) 代表者の住所に郵送される。
- 2) 代表者へメールされる。
- 3) WEB 大会トピックスに記載される。
- 4) パドック内のレースリザルト掲示板に掲出される。
- 5) 公式練習前、あるいは決勝前など必要に応じて招集されるライダーズブリーフィングで指示される。
- 5) 場内アナウンスによって案内される。

#### 第 39 条 広告に関する事項

オーガナイザーは次のものに関し抹消する権限を有し、かつライダーはこれを拒否することができない。

- 1) 公序良俗に反するもの
- 2) 政治・宗教に関連したもの
- 3) イベントに関係するスポンサーと競合するもの

#### 第 40 条 本特別規則の施行

本特別規則は、第 1 条に示されるイベントに適用されるもので、イベントの参加申し込み受付開始と同時に有効となる。

#### 第 41 条 車輛規定

参加の手引きに準じる。

#### 第 42 条 ライダーの装備

参加の手引きに準じる。

ただし、参加の手引きに記載している条件を満たしていても、破損が見られる場合は競技役員の判断により、参加を認めない場合がある。

※特にヘルメットにキズがある場合は参加を認めない場合があります。ヘルメットはご自身の安全を守る最も重要な装備ですので、亀裂等が無い物をご使用下さい。

《特に注意する点は以下の通り》

- ・ ヘルメットは MFJ 公認のフルフェイスヘルメットを使用すること。
- ・ レーシングスーツは革製の物を使用すること。※MFJ 公認が望ましい。

- ・ 古過ぎるヘルメット。
- ・ 内装が傷んでいるヘルメット。

最後に。

この手引きを作るにあたり、主催者の私が過去参戦させていただいた、各方面のレースブック、レギュレーションなど多くのものを参考とさせていただきました。謹んでお礼申し上げます。